

留学を終えて

中津高等学校 小関 夏鈴（アメリカ合衆国）

1年間のアメリカ留学を通してたくさんの経験をする事ができました。この留学を支えてくれた日本とアメリカの家族、学校、そして友だちに心から感謝しています。1年間、ホームステイをしながらアメリカのリアルな日常生活を送ることができました。



すごくラッキーなことに何度か旅行にも連れて行ってもらいました。滞在していたオレゴン州の中はもちろん、ワシントン州、シアトル、ラスベガス、ロサンゼルス、友達の誕生日に行ったグランドキャニオンなどを訪れることができました。遠出した日も学校生活も休日も、全ての瞬間が大切な思い出となりました。

まず、学校について振り返りたいと思います。私の通った学校は全校生徒が4学年合わせて250人以下の小さい学校でした。私は高校三年生の生徒として現地の学校に通ったので、プロムやシニアナイト、卒業式など高校三年生ならではのたくさんの行事に参加することができました。普段の授業には、日本よりも選択できるものが多くありました。授業の中で気に入っていたのは World Culture のクラスです。World culture は、社会科系の授業で、国際的な問題について、アメリカからの視点で考えました。ジェノサイドや戦争についての授業は、とても新鮮でおもしろかったです。学校の部活動では、陸上に挑戦しました。400Mリレーでは、最後の大きな大会で3位に入賞することができ、チームとのいい思い出になりました。陸上の遠征を通していろいろな学校を見て回ることができ、バスの中で友だちとお喋りをしたのがとても楽しかったです。大会場所はとても遠い場所が多かったのですが、その間友だちと話し続けることができたとき、自分の英語力と会話力が向上したのを感じ、嬉しくなりました。



次にホストファミリーについて振り返りたいと思います。私はメキシカンホストにお世話になり、メキシコの文化や行事も体験させてもらうことができました。私はこのファミリーと出会う前に2回ホストチェンジをし

した。最初のホストファミリーはドイツからの留学生の受け入れもしていましたので、ドイツ出身の留学生とホストシスターになりました。彼女とは、最初のホストファミリーからホストチェンジをし、2家庭目のファミリーで再びホストシスターとなったことをきっかけにとっても仲良くなりました。留学生生活のほとんどの時間を彼女と一緒に過ごしました。最終的には別々のホストにお世話になることになりましたが、楽しい時も辛い時も、同じ留学生という立場で理解しあえることが多く、たくさん相談しあいました。支え合える仲間を見つけることができ、本当に良かったです。これからも彼女との縁を大切に、この関係を続けていきたいです。

留学中に会った人のなかで、私を介して日本について興味を持ってくれたり、日本を訪れてみたいと思ってくれたりする人が何人もいました。このように、自分が誰かに影響を与えることで自分の価値も知りました。逆に、私がアメリカで会った全ての方は私に影響を与えました。たくさんの人と関わり、新しいものの見方を学びました。私は留学を通して、英語だけではなく、人間関係の難しさや周りへの感謝、言語よりも広い意味でのコミュニケーション力など、多くのことを学びました。私が学んだことは、全てこれからの人生の中で必ず生かすことのできる大切なものだと思います。

留学を終えた今、周りの人たちへの感謝は言葉では表せきれません。留学という挑戦をしたからこそ出会えた一生涯の友人たちと、たくさんのキラキラした思い出は私の宝物です。これからは留学をして得たものを将来につなげていきます。



留学生グループで行ったクリエイターレイク旅行